



箱根ラリック美術館 開館15周年記念

箱根ラリック美術館 × 鳩居堂

豪華コラボレーションが実現！一筆箋など販売スタート！

平素よりお世話になっております。

箱根ラリック美術館は、2005年3月19日、宝飾とガラス工芸家ルネ・ラリック（1860-1945）の作品を所蔵する国内有数の美術館として箱根・仙石原にオープンし、今年2020年に開館15周年を迎えました。さらに今年は、ルネ・ラリックの生誕160年。記念すべき周年イベントとして、9月12日（土）から、2021年3月21日（日）まで、ラリックが手がけた香水瓶の数々を、華やかなりし時代のパリを映したその香水の広告とともに展示する企画展「ドラマチック・ラリック」を開催しています。

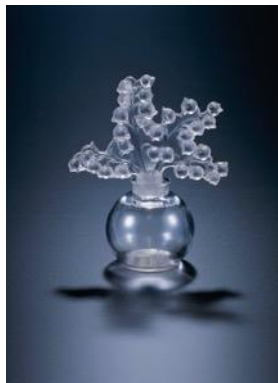
この度、お香、書画用品、はがき、便箋、金封、和紙製品の専門店「鳩居堂」と、箱根ラリック美術館がコラボレーションした「一筆箋」と「ひとつこと箋」を発売することが決定しました。1663年（寛文3年）に京都寺町の本能寺門前に菓種商として創業した老舗「鳩居堂」と、アール・ヌーヴォーとアール・デコの時代を駆け抜けた宝飾とガラス工芸作家ルネ・ラリックとの豪華コラボレーションが実現。ラリックがこよなく愛した草花や動物たちを描いた、四作品をモチーフに描き下ろされたイラストがあしらわれた便箋は、自然の優美を感じることができる上品な品物となっています。日本の工芸作品や浮世絵などジャポニズムに強く影響を受けたラリックの作品は、現代の日本人の心にも響く、親しみやすさを感じさせます。箱根ラリック美術館内にある「ミュージアムショップ」と「ショップ パッサージュ」と、公式ホームページのオンラインストアにて、9月16日（水）より購入可能です。ぜひご紹介お願い申し上げます。



【藤の枝がうねりながら伸び、花が垂れ下がる様子を一筆箋にしました。日本古来より愛されてきた藤を、七宝を用いて生き生きと描き出したラリックの表現力が光る一冊です】

(左) 一筆箋「フジ」(¥550 (税込))

(右) モチーフとなったペンダント「フジ」1900-1903年頃



【ラリックが愛した花、スズランがモチーフの香水瓶をデザインしました。ガラス工房を構え、家族と過ごした思い出の地「クレールフォンテーヌ」と名付けられたこの作品にはラリックの幸せな記憶が刻まれています】

(左) ひとつこと箋「クレールフォンテーヌ」¥660 (税込)

(右) モチーフとなった香水瓶「クレールフォンテーヌ」1931年



【右へ左へ、花器いっぱい泳ぐ可愛い魚の一筆箋。整然と、かつリズムカルに並ぶ姿が、軽やかで爽やかな一冊です】

(左) 一筆箋「パンチエーヴル」(¥550 (税込))

(右) モチーフとなった花器「パンチエーヴル」1926年



【ラリックが晩年を過ごした家には愛する家族のために制作した特別な一室がありました、その部屋の壁を彩るのは、木にとまるガラスの雀たち。光を受けて輝くようすを、美しい「箔」で表現しました】

(左) ひとこと箋「雀」(¥660 (税込))

(右) モチーフとなった室内装飾「雀」(部分) 1929年



(左) モチーフとなった室内装飾「雀」1929年

■企画展「ドラマチック・ラリック」について

ルネ・ラリック(1860-1945)といえば、真っ先に「香水瓶」を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。1900年のパリ万博でグランプリを獲得し、独創的なジュエリー作家として不動の地位を築いたラリックが、香水瓶のデザインと製造という新たな創作のジャンルを開拓したのは、香水商フランソワ・コティとの出会いがきっかけでした。ラリックは目には見えない香りの魅力やイメージを、花々や真夜中に輝く月といった自然の優美さや都会にそびえる高層ビルのスタイリッシュさに例え、瓶の造形やデザインで表現しました。容器という枠を超え、美しく繊細な意匠に物語(ドラマ)がこめられたラリックの香水瓶は、またたく間に人びとの心を掴みました。時には大切な人への愛を、そして時には戦場からの帰還への願いを、さまざまな想いを代弁する贈り物として、長く愛されてきたのです。モダンでスタイリッシュなデザインに、たくさんの想いを秘めたドラマチックなラリックの香水瓶の世界をご堪能ください。



▲香水瓶「ダン・ラ・ニュイ」
1924年(ウォルト社)



▲「香水A(または香水N)」1929年
(リュシアン・ルロン社)



▲広告「ラリックの香水とパウダーボックス」1930年
リュシアン・ルロン社

【主催】箱根ラリック美術館 【協力】アダチヨシオ コレクション、芳賀博子コレクション 【香りの特別協力】株式会社アトリエパルファン・香りのアトリエ 調香師 田代はなよ
開館時間:9:00~17:00 (美術館入館は 16:30 まで ※臨時休館の場合あり、最新情報は、公式ホームページをご覧ください)

入館料:大人 1500 円/大・高生・シニア(65 歳以上)1300 円/中学生・小学生 800 円

所在地:神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 186 番 1 TEL:0460-84-2255

箱根ラリック美術館公式サイト www.lalique-museum.com/

【箱根ラリック美術館お問合せ先】

箱根ラリック美術館 (広報担当:古川) TEL:0460-84-2255

シャントラバ(大島) TEL:090-3737-6160 shmmk72@gmail.com 平井直子 TEL:090-2670-5866 hirainaoko0224@gmail.com